

2015年
(平成27年)

2月

東北の町村で初めて「歴史的風致維持向上計画(通称・歴まち計画)」が認定

4月

旧小坂小学校をリニューアルした「小坂くらし館」がオープン。愛称は「こさかふるさと館」

東北浄化センター仮設汚泥乾燥施設が運転開始

5月

首都圏の女性に国見町の魅力を体験してもらう「くにみしゅらん」を初開催

役場新庁舎が開庁(被災3県で最速)

7月

「国見町合併60周年記念式典」を観月台文化センターで挙行

10月

桜の聖母短期大学生が考えた「モモスイーツ発表会」を開催。国見の特産品「もも大福」が誕生

12月

住宅除染が前倒しで終了

2016年
(平成28年)

2月

町産献穀米「天のつぶ」を100%使用した国見町の新酒「あつかしさん」が完成

町内の小中学生と大学生が未来の理想の街を考えるワークショップ「未来の国見町をサイトシーイング」を開催

3月

木育推進「ウッドスタート宣言」

あの時から5年「東日本大震災を考える町民のつどい」を開催

国見の魅力を再発見「食の文化祭」を開催

4月

地域で支え合う介護予防事業「通いの場」スタート

8月

「ヤングカレッジ」廃校からの脱出ゲームを旧小坂小学校で開催

「旧小坂村産業組合石蔵」が国登録有形文化財に登録



モモスイーツ発表会



食の文化祭



国見町役場新庁舎



国見町合併60周年記念式典



「ヤングカレッジ～廃校からの脱出ゲーム～」



子どもたちに木の温もりを「ウッドスタート宣言」



「こさかふるさと館」オープン



新酒「あつかしさん」完成



子どもたちの描く未来予想図「未来の国見町をサイトシーイング」



町の歴史を後世へ「歴まち計画」が認定

またみなさんと一緒に「完売！」を

6年ほど前、「くにみしゅらん」のリーダーとして品川女性起業家交流会の仲間たちと国見町を訪れました。その時の町役場や生産者のみなさんとの出会いは私の一生の宝になっています。東日本大震災からの復興やこれからの100年のまちづくりにかけるみなさんの熱心な姿に触れ、私たちはいっぺんで国見ファンとなりました。



NPO 品川女性起業家交流会
事務局長 松田 陽子さん

東京でのあんぽ柿やモモの販売応援にも参加しました。「こんなにおいしい果物だから最後まで売り切りましょう」と私が言っても、最初はみなさんモジモジしていたのに、一昨年の年末には、農産物だけでなく「桃のハンドクリーム」まであっという間に全部売り切ってしまいました。国見町のキラキラの果物や野菜、そしてみなさんと一致団結する国見愛に出会え、本当に感激しました。

東京ではコロナ禍で心が折れそうな毎日ですが、またみなさんと一緒に「完売！」と言える日を楽しみにしています。



奥山家住宅で開催した「くにみしゅらん」



東京歌舞伎座木挽町広場で開催した「ふくしまくにみ物産展～くにみのおすそわけ～」